

アネスト岩田株式会社

2021年3月期 第3四半期

決算補足説明資料

2021年2月10日

東証1部 機械

証券コード6381

売上高345億円（期初予想比+45億円）、営業利益30億円（同+25億円）

カスタマイズ製品の順調に加え、汎用製品も欧米は2Q後の反動、国内回復

□ **世界的な経済活動再開に伴う需要増加、日本は4Qの慎重な見方を継続**

□ **医療用等のカスタマイズ製品は利益率が高く、収益の下支えが進展**

単位： 百万円	期初業績予想 (6月10日発表)	【1回目】	【2回目】	修正差	【要因分析】 上方修正理由
		2Q時に上方修正 (11月10日発表)	3Q時に上方修正 (2月10日発表) *		
売上高	30,000	32,500	34,500	+6.2%	日本の回復、欧米ロックダウンの反動など (内訳：日本約13億円、欧米約4億円)
営業利益	500	2,400	3,000	+25.0%	売上高の回復ならびに出張旅費や広告宣伝費など販管費の大幅減少、コーティング事業の製品ミックス良化など
営業利益率 (%)	1.6	7.3	8.7	+1.4pt	—
経常利益	800	3,000	3,600	+20.0%	1,2Qの雇用調整助成金及び上記の増加に伴うもの
経常利益率 (%)	2.6	9.2	10.4	+1.2pt	—
親会社株主帰属純利益	650	1,800	2,100	+16.7%	上記の増加に伴うもの
当期純利益率 (%)	2.1	5.5	6.1	+0.6pt	—

*想定為替レート円/米ドル 105.0円 /ユーロ 115.0円/人民元 15.0円

新型コロナウイルスの影響もあり前年同期比減収減益も、減少幅は縮小

売上高：25,512百万円（前年同期比 \triangle 2,689百万円、 \triangle 9.5%）
 営業利益：2,471百万円（同 \triangle 374百万円、 \triangle 13.2%）

エアエナジー 事業

- ・オイルフリー圧縮機やアメリカにおける真空ポンプの売上は好調
- ・利益率が上昇し、前年同期比で増益を達成

売上高：14,981百万円（前年同期比： \triangle 1,556百万円、 \triangle 9.4%）
 （ご参考）
 営業利益：1,324百万円、利益率8.8%（同：+30百万円、+2.4%）

コーティング 事業

- ・エアブラシや塗装設備の売上は好調
- ・汎用の塗装機器は2Qまでの営業活動停滞による影響を取り戻せず

売上高：10,530百万円（前年同期比： \triangle 1,133百万円、 \triangle 9.7%）
 （ご参考）
 営業利益：1,147百万円、利益率 10.9%（同： \triangle 405百万円、 \triangle 26.1%）

（注）事業別営業利益は当社グループ独自の基準により算定

2021年3月期業績予想を上方修正

世界的な経済活動再開に伴う需要増加、利益率の高いカスタマイズ品売上の順調が継続、製品ミックスの良化、販管費のコントロールなどにより、通期へ向けて業績が回復基調。

	2020年3月期3Q		2021年3月期3Q		前年同期比			2021年3月期予想 (2月10日修正)	
	実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化 (P)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
売上高	28,201	—	25,512	—	-2,689	-9.5	—	34,500	73.9
営業利益	2,845	10.4	2,471	9.7	-374	-13.2	-0.4	3,000	82.4
経常利益	3,135	11.1	3,010	11.8	-125	-4.0	+0.7	3,600	83.6
親会社株主 帰属純利益	2,005	7.1	1,941	7.6	-64	-3.2	+0.5	2,100	92.4
平均為替レート 円/米ドル	109.15 円		107.59 円		1.56 円 (円高)			105.00円	
平均為替レート 円/ユーロ	122.66 円		120.90 円		1.76 円 (円高)			115.00円	
平均為替レート 円/人民元	15.90 円		15.37 円		0.53 円 (円高)			15.00円	
配当	中間	12円	期末 予想値	12円	年間 予想値	24円			

売上高・営業利益ともに前期との業績乖離は縮小傾向

- ・3Qは、前期実績を上回るまで回復
- ・他方、4Qは、新型コロナウイルス禍再拡大等などの不確実性も踏まえ、慎重な見通し

(百万円)		1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	1Q~3Q 累計	通期	
売上高	2021年3月期 (A)	6,914	9,617	8,981	25,512	予想値 (A)	34,500
	2020年3月期 (B)	8,672	10,863	8,666	28,201	実績 (B)	39,091
	差額(A-B)	-1,758	-1,246	+315	-2,689	差額(A-B)	-4,591
営業利益	2021年3月期 (A)	410	1,020	1,041	2,471	予想値 (A)	3,000
	2020年3月期 (B)	728	1,493	623	2,845	実績 (B)	3,876
	差額(A-B)	-318	-473	+418	-374	差額(A-B)	-876

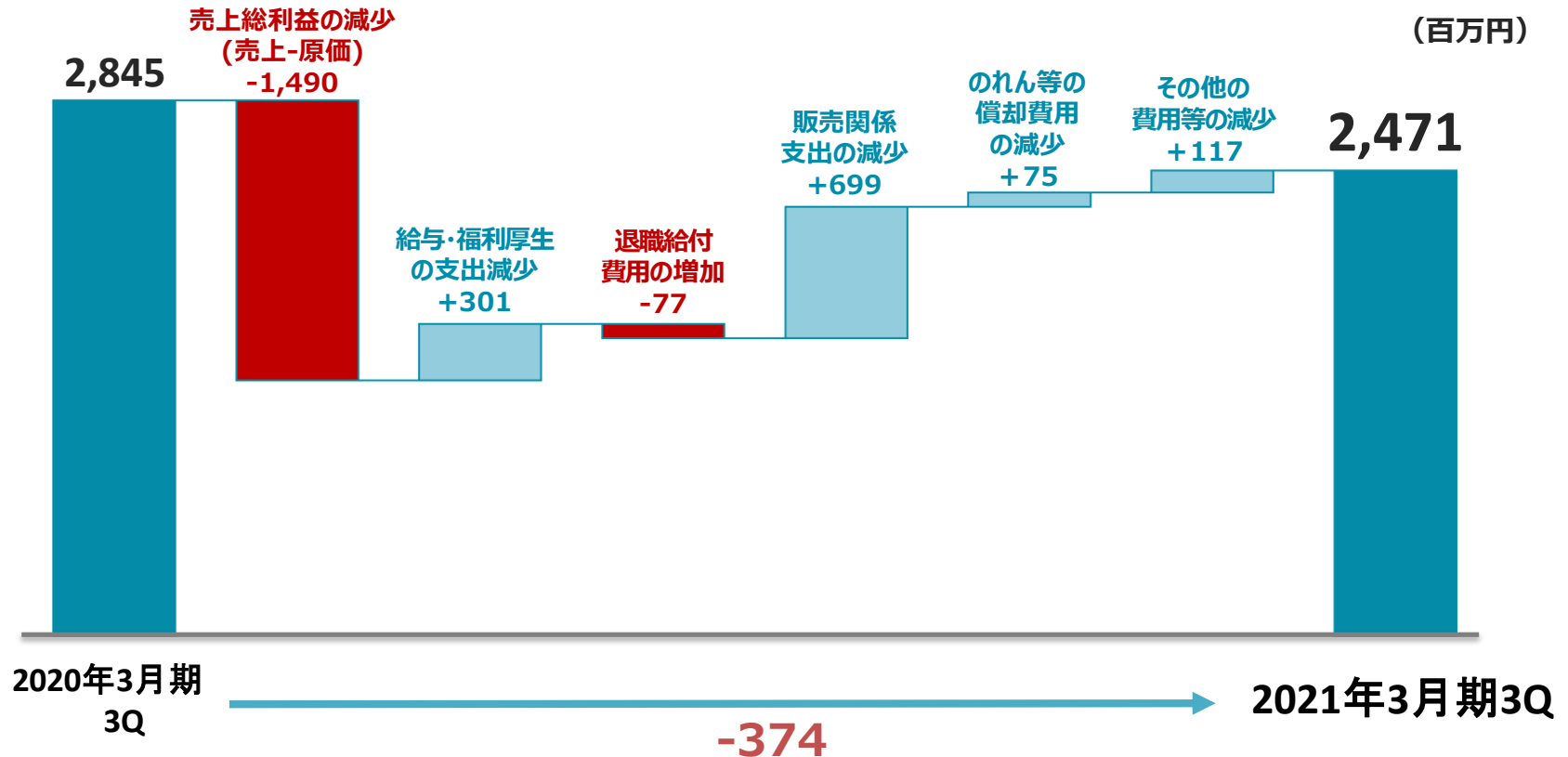
新型コロナウイルス感染症の影響もあり減収減益だが、減益幅は縮小

- 売上高：為替変動による影響額(-479百万円)
- 売上原価：塗装設備製品在庫や計画生産に伴う在庫の積み増しなどの影響から悪化も3Qから回復傾向
- 特別利益：上半期における行政からの休業要請に伴う雇用調整助成金収入(+76百万円)
- 特別損失：上記要請期間中の臨時休業に伴う人件費等の固定費の計上(+99百万円)

	2020年3月期3Q		2021年3月期3Q		前年同期比		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率 変化 (P)
売上高	28,201	—	25,512	—	-2,689	-9.5	—
売上原価	16,006	56.8	14,807	58.0	-1,199	-7.5	1.3
売上総利益	12,195	43.2	10,704	42.0	-1,490	-12.2	-1.3
販売管理費	9,349	33.2	8,232	32.3	-1,116	-11.9	-0.9
営業利益	2,845	10.1	2,471	9.7	-374	-13.2	-0.4
営業外収益	476	1.7	664	2.6	187	39.4	0.9
営業外費用	186	0.7	125	0.5	-61	-32.8	-0.2
経常利益	3,135	11.1	3,010	11.8	-125	-4.0	0.7
特別利益	58	0.2	81	0.3	23	40.7	0.1
特別損失	79	0.3	102	0.4	22	28.2	0.1
税金等調整前純利益	3,113	11.0	2,989	11.7	-124	-4.0	0.7
法人税等	876	3.1	767	3.0	-108	-12.4	-0.1
非支配株主帰属純利益	231	0.8	281	1.1	49	21.3	0.3
親会社株主帰属純利益	2,005	7.1	1,941	7.6	-64	-3.2	0.5

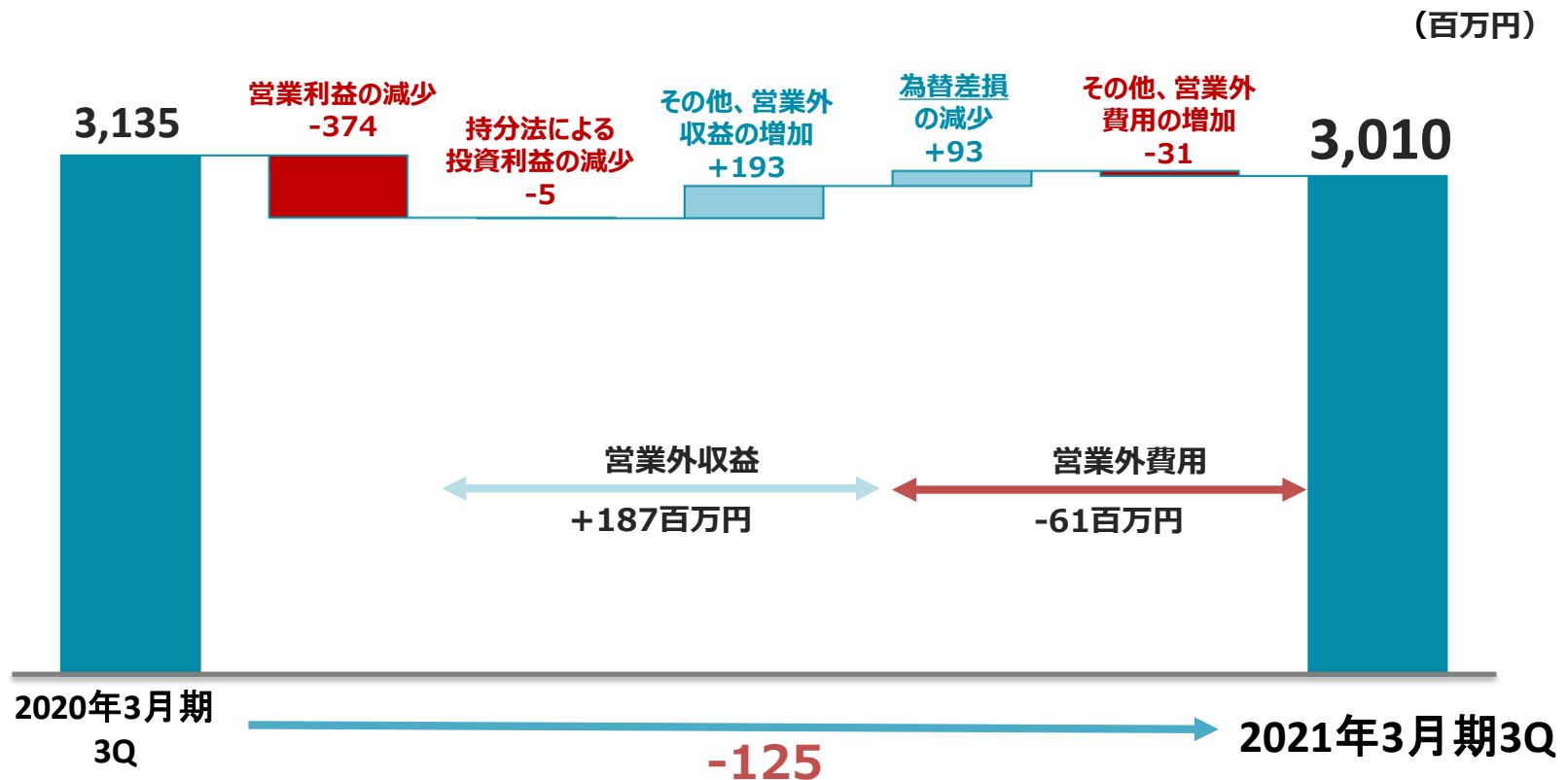
減益も、販売管理費の支出減少などにより当初見込みを上回る

- ・ WEB会議システムの活用などによる旅費交通費の減少
- ・ 償却費（有形及び無形固定資産）の減少
のれん（無形固定資産）の償却額：152百万円（前期比△52百万円）
- ・ 展示会の中止などによる広告宣伝費の減少



営業外収益は改善

- ・雇用調整助成金などにより、その他、営業外収益の増加
4・5月分→特別利益、6月以降分（146百万円）→営業外収益に計上
- ・為替差損の減少

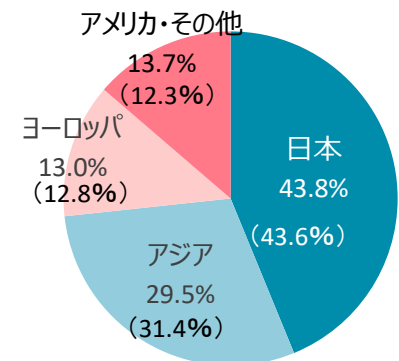


北米その他が前年同期比増収・構成比も上昇

- ・日本：減収。製造業の生産活動の持ち直しに伴い、汎用製品の販売が復調。
- ・ヨーロッパ：減収。搾乳用途向け圧縮機や自動車補修向けスプレーガンなどは好調に推移。
- ・アジア：減収。中国を筆頭に一部では回復傾向も東南アジアは厳しい状況が継続。中国の塗装設備では、新型コロナウイルス禍の影響により受注減少。
- ・北米その他：増収。アメリカを主として医療用も含めオイルフリー圧縮機や真空ポンプの需要が増加。特にエアブラシは売上が大幅増。

(百万円)	2020年 3月期3Q	2021年 3月期3Q	増減額	増減率 (%)	エアエナジー事業		コーティング事業	
					圧縮機	真空機器	塗装機器	塗装設備
日本	12,297	11,183	-1,113	-9.1	×	●	×	◎
ヨーロッパ	3,599	3,311	-287	-8.0	▼	×	●	—
アジア	8,842	7,519	-1,322	-15.0	▼	●	×	×
北米その他	3,462	3,497	+34	+1.0	×	◎	△	△
合計	28,201	25,512	-2,689	-9.5	●	●	×	○

■ 構成比
2021年3月期3Q
(2020年3月期3Q)



◎ 10%～ △ 0%～3% ○ 3%～10%
▼ 0%～-3% ● -3%～10% × -10%～

現金及び現金同等物は102億円、フリーCFはプラスと健全性を維持

- 営業CF** (－) 「たな卸資産の増減額」の変動 (前年同期比 -199百万円)
 (－) 「仕入れ債務の増減額」の変動 (同 -279百万円)

- 投資CF** (+) 「投資有価証券の取得による支出」の減少 (同 +603百万円)
 (+) 「有形固定資産の取得による支出」の減少 (同 +286百万円)

- 財務CF** (+) 「被支配株主への清算配当の支払額」の減少 (同 +143百万円)
 (－) 「自己株式の取得による支出」の増加 (同 -298百万円)

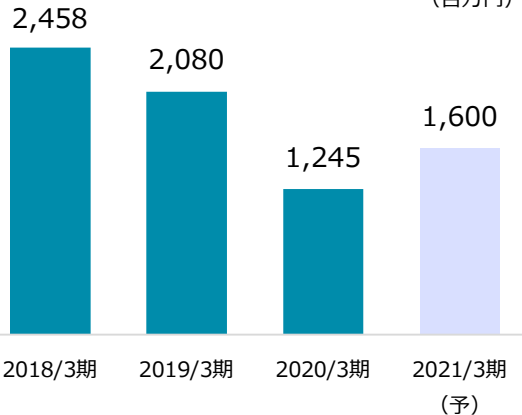
	2020年3月期3Q	2021年3月期3Q	前年同期比
	実績 (百万円)	実績 (百万円)	増減額 (百万円)
営業CF	3,385	2,645	-740
投資CF	-1,257	-568	+688
財務CF	-1,767	-1,747	+19
フリーCF	2,128	2,077	-51
	2020年3月期末	2021年3月期3Q	前連結会計年度末比
現金及び 現金同等物	10,092	10,235	+143

- ・通期の設備投資額（現状の見込）：1,600百万円。
IT投資は2Qより本格化し、約140百万円実施済み、通期累計では約600百万円を予定。
- ・研究開発費は、期初計画どおり。

(百万円)	2021年3月期3Q実績			
	設備投資額	減価償却費	研究開発費*	売上高
実績 (現状の見込比)	661 (41.3%)	1,058 (88.2%)	781 (86.8%)	25,512
期初計画	2,000	1,400	900	
現状の見込	1,600	1,200	900	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種工作機械、自動化設備等 ・製品開発 ・IT関連投資 	見込は2Qから変更なし		

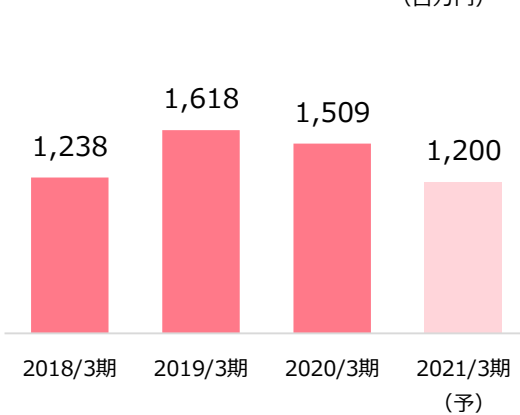
設備投資額

(百万円)



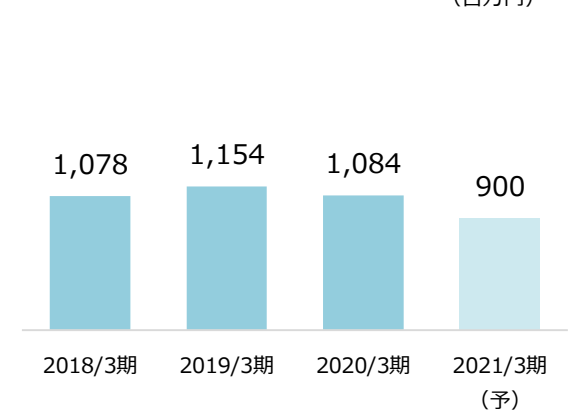
減価償却費

(百万円)



研究開発費

(百万円)



配当方針

成長投資の為の内部留保を確保すること及び安定配当の両立。
配当性向を30%以上とし、2022年3月期末時点で35%以上を目指す。

配当

2021年3月期：**年24円**（**中間12円 + 期末12円**）予想

自社株買い

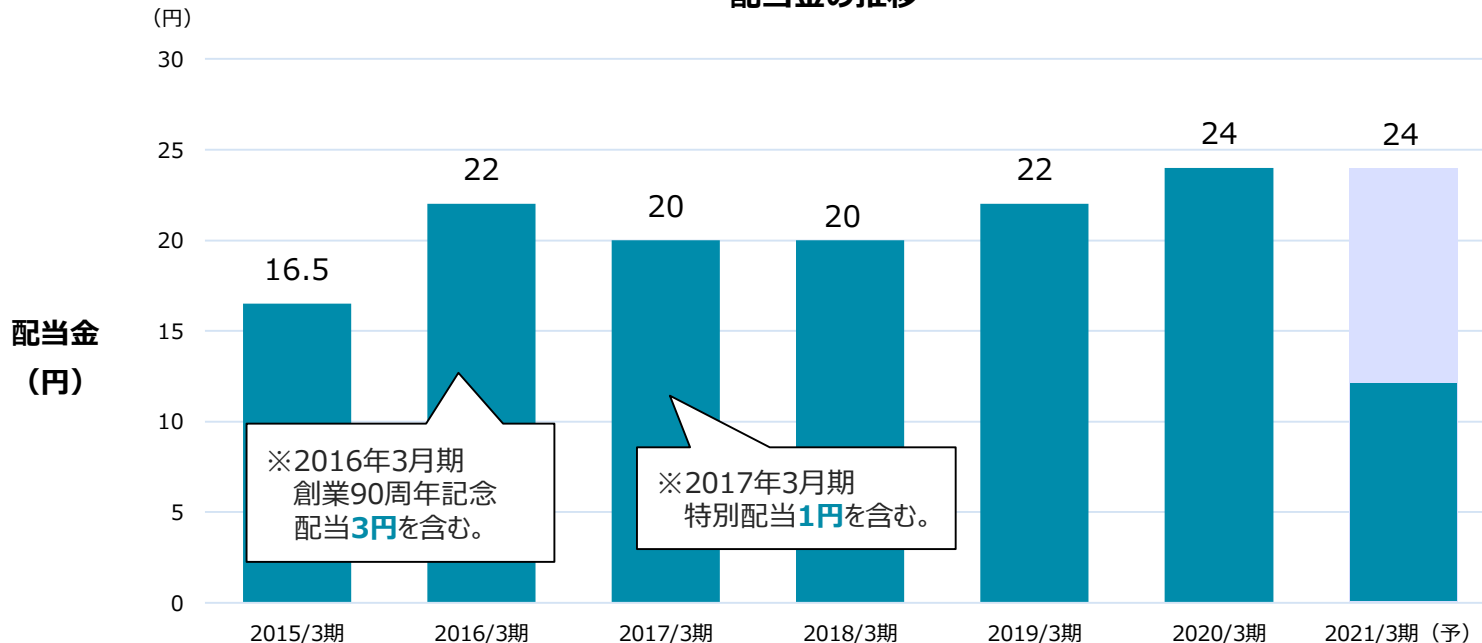
76万株（自己株式を除く発行済株式数の1.82%）あるいは500百万円を上限に
自社株買いを実施。期間は2020年11月11日～2021年3月31日。

■買付完了（2月2日）

48.05/76万株（63.2%） 499.9/500百万円（≒100%）

発行済株式数：41,745,505株

配当金の推移



横浜F・マリノスとオフィシャル・パートナー契約を締結

創業100周年に向けて、2020年12月から2027年1月までの6年2か月の複数年契約
ホームタウンである横浜の地域活性化・社会貢献活動、健康経営などを推進



左：横浜マリノス株式会社 代表取締役社長 黒澤 良二様 右：弊社代表取締役 社長執行役員 壺田 貴弘



横浜F・マリノス 公式マスコットのマリノスケ

1926年創業

(旧社名：岩田製作所)

米国社製を手本に
スプレーガンの製造を開始

スプレーガン

塗装用ハンドガン

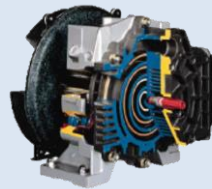


↑
圧縮空気で
塗料を霧状に

コンプレッサ

空気圧縮機

スプレーガンの検査用
圧縮機として製造開始



製品の差別化を
可能にしたコンセプト

- ・環境対応
- ・塗面作成の提案力

- ・オイルフリー化
- ・省エネ性

製品の多様化
用途の開拓



塗装ロボット



エアブラシ



オイルフリー
スクロール型
真空ポンプ



オイルフリー
スクロール型
圧縮機

コーティング事業

塗装機器：
スプレーガン、塗料供給
ポンプなどの機器単体

塗装設備：
塗装機器と換気や乾燥
装置、塗装ロボットなどを
組み合わせたシステム

エアエナジー事業

圧縮機：
空気圧縮機、N2ガス発生
装置、タンクなどの補器類

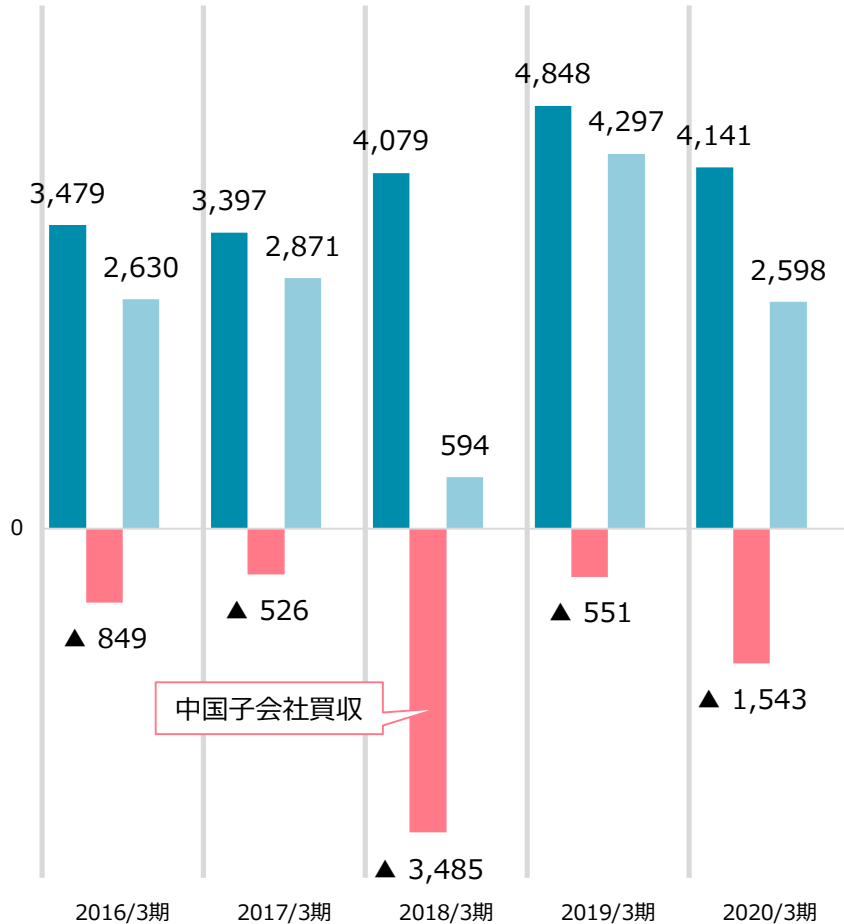
真空機器：
真空ポンプ、バルブなどの
補器類

フリーキャッシュフローは着実に積みあがり、EBITDAは増加傾向

キャッシュフローの推移

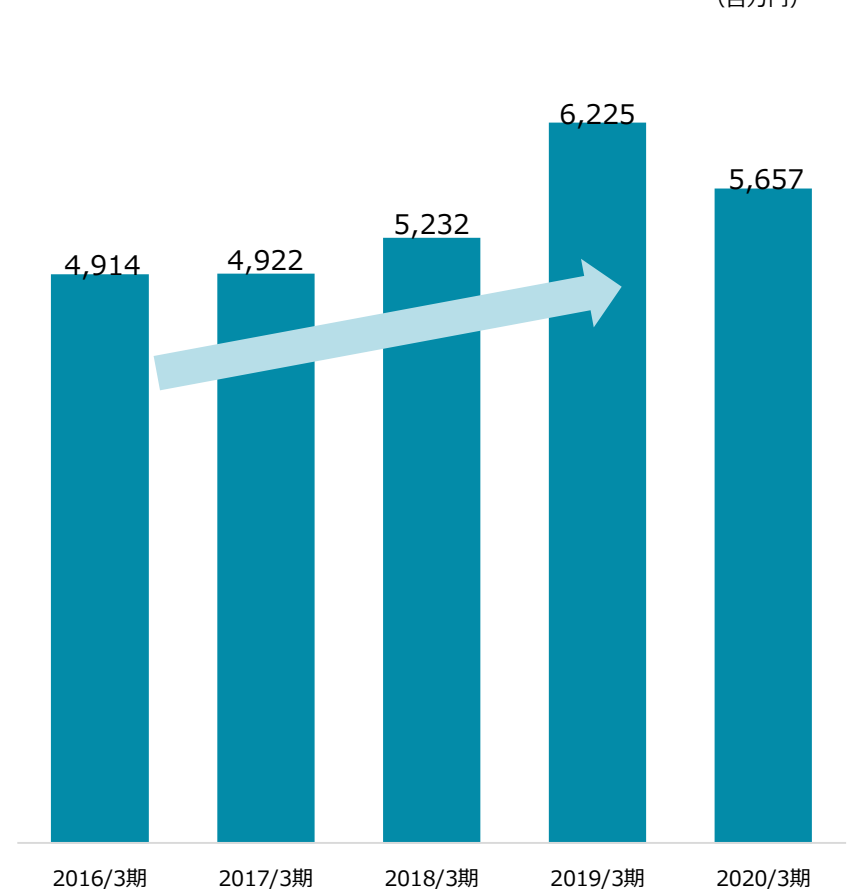
(百万円)

■ 営業キャッシュフロー ■ 投資キャッシュフロー ■ フリーキャッシュフロー



EBITDAの推移

(百万円)



将来見通しに関する記述、及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではございません。